

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	重症COVID-19肺炎に対するEarly Mobilizationの有用性
研究責任者	金子 賢人
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	概要: 新型コロナウイルスで入院された患者さんの中で、重症化し人工呼吸器で治療を受けた方は呼吸機能や身体機能に後遺症が残る事が懸念されています。当センターでは2020年4月15日より新型コロナウイルス肺炎に対するリハビリテーション(理学療法介入)が開始されました。日本では重症化したCOVID-19に対する人工呼吸器管理下でリハビリテーションを受けられる施設は限られています。 そこでリハビリテーション科では重症化した新型コロナウイルス肺炎の患者さんに対して人工呼吸管理下で早期にリハビリテーションを実施した効果を明らかにすることを目的としました。 今回の研究では当センターの重症新型コロナウイルス患者さんの呼吸機能や身体的傾向を把握し、今後の治療方針役立てるべく、後方視的研究を計画致しました。
研究方法	対象: 2020年4月～2021年8月に当院に新型コロナウイルス肺炎で入院され、入院期間中にリハビリテーションを実施した112例を対象としております。 研究方法: 診療録より患者さんの背景や治療内容、治療成績、リハビリテーション時の身体評価等を解析致します。 今回の研究は以前より行っていた「新型コロナウイルス肺炎患者に対する理学療法効果」で使用したデータを2次利用して解析方法を変更して実施致します。 倫理的配慮: 個人情報の保護には匿名化を徹底し、十分な配慮を行った上で解析を行います。上記対象に該当すると思われる患者さんで、本研究へ参加を希望されない方は下記までご連絡下さい。参加の途中での辞退も可能です。参加を希望されない場合でも不利益を被ることは一切ありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター リハビリテーション科部 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者: 金子 賢人 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604